

平成23年度 第2回運営会議ニュース

日 時	平成23年5月8日(日)9:30～12:00南谷戸の調査、13:30～16:00会議
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター レクチャールーム
出 席 者	20名(南谷戸の調査16名)

議題

(1)南谷戸田の管理について

午前中に南谷戸の現場調査を行い、問題点などについて確認した。また同時に、“ぼらぼら”を中心として水質・植生調査等も行った。

(会長)南谷戸の図面をもとに、午前中での現地調査の結果を踏まえて、現在の状況や問題点について説明。水路からの取水等の水まわり問題や田の草刈の頻度について話合う必要がある。谷戸田の造成後、年数が経過しており、一度、土木事務所で正確な田面の高さを測量してはどうか。草刈は、カエルやトンボの生息環境を考慮し、湿地や開放水面の維持が必要になる。ホテルの会で、上段付近に以前あったカエル沼を復元した。

(専門委員)5月末まではアカガエルの生息環境を考慮して水を残して草刈をするべき。シュレーゲルアオガエルの産卵については、アカガエルほど生息状況が切迫していないので、基準を緩くしてもいいのではないかと。

(その他)

- ・田面等のレベルを測量することがまず必要ではないか。その上で、水がきちんと溜まれば、ヨシ等は水面下ではさほど成長しなくなるので、草刈の頻度も変わってくる。
- ・田の地下水位や水深を測れる計測器を設置して、データを取るのはどうか。大雨時、水路にどの位水が流れているかを確認するべき→大雨時、有志で現場を確認する。

【決定事項】

- ・5月中はアカガエル類が上陸するまでは、水を抜かず刈る。6月はシュレーゲルアオガエルの産卵時期なので、できるだけ水を残すよう配慮する。6月中旬～下旬は野鳥の水浴びがあるので控える。
- ・土木事務所で、田面(各面2箇所)や各取水・排水管のレベル等を測量する。
- ・復元したカエル沼は、秋頃まで手を入れず、水がたまる状況を見守る。
- ・上段へ流入する水路の分岐点に、板等を置いて池に水が直接流れないようにする。

その他報告事項など

○厚木土木東部センター

園路舗装工事は、5/9(月)から着工し、エリア別で2業者が行う。森の学校までの東側園路は、土系で浸透性のある舗装、北口駐車場付近から東30までの北側園路は、アスファルト舗装とする。

質問・要望	土木事務所の返答、決定事項
アスファルト舗装は、雨水や泥が下まで一気に流れてしまうのではないかと。	園路の各所に横断側溝を設置し、谷側に雨水が流れるようにし、浸透柵を設けることで泥ため機能をもたせるように配慮する。
工事中は、北駐車場からの出入りは可能か。	出入りできる。
工事後すぐに通行できるよう、完成検査を早く行って欲しい。	舗装した箇所から、順次通行ができるようにする。
わきみずの谷奥の階段が腐ってきている。	可能であれば今年度に、擬木の階段に改修したいと考えている。

○公園事務所

- ・各ボランティア活動等の際に公園で貸し出している腕章について、長期借用書を配付し、今後は、毎年度に各団体1枚にまとめて提出していただくようお願いした。
- ・6/17に開催するやとやま講座「谷戸の自然とホテル」と、6/4に開催するバードウォッチングのポスターを配付と詳細の説明。
- ・みちくさ広場のいきもの調査を近々行いたいので、ご協力をお願いした。

○谷戸山写楽会

- ・ホトギス、キビタキ等の野鳥情報
- ・水鳥の池の対岸にあった倒木を公園事務所に片付けられてしまった。これはカイツブリが巣作りに使う可能性があったので、配慮して欲しかった→景観上処理してしまった。今後は事前に各団体から情報をいただき、処理を検討していきたい。
- ・北口駐車場トイレの警報が鳴っていたので止めたが、公園側での警報対応はどうなっているのか→管理事務所に警報ランプなどが無く、利用者からの通報が無ければ把握できないのが実情で、現時点では連絡先や復旧方法の説明表示を徹底し、今後は施設自体を改善することを検討する。

○その他

- ・緑の会の会報誌「もくせい」の配付と8月に開催する昆虫ウォッチングについて
- ・野鳥の原っぱにクズがだいぶ伸びてきているので、早めに刈り取るほうがよいのでは→里山保全隊で毎年刈っている今年も行う。
- ・本自然保護協会で、今年度に全国一斉のチョウの観察会を行う。谷戸山公園でも7/24に開催するので、ちらしの配付と詳細説明。また、7月の定例観察会もチョウの観察会とする。

次	回	6月12日(日) 13:30~16:00会議
---	---	------------------------